

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科			
科目名称	卒業研究					授業形態	授業形態	講義・演習			
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○		○
担当教員名	園田 博一							ICT活 用	○		○
授業概要	<p>卒業研究は、個々の課題研究であるが、方法や課題をゼミ生で共有し、情報の意見交換などお互いに協力し合う。先行研究・資料収集と整理、研究計画を検討し、スキルを高めていく。研究内容は、疑問に思うこと、経験したことの中から興味・関心の高いものを研究対象とする。図画工作と教育現場に関わりの深い内容を選択し、美術教育との関連を図りながら卒業論文に仕上げる。発表の形式は、制作（作品）と論文に著す。研究課題は個々の裁量に負うが、これまでのゼミの活動から培われたものを最大限に生かす。テーマ設定後は制作研究と文献研究を進めて理論的背景を構築していく。制作研究では試作を繰り返しながらスキルを高めていく。</p>										
関連する科目	教科教育法（図画工作）、保育内容指導法（造形表現）、図画工作演習、子どもと手作り遊び、図画工作										
授業の進め方 と方法	<p>専門ゼミⅠ及びⅡの内容を踏まえ学習を進める。研究の目的や方法 については専門ゼミⅠから進めている。文献研究による理論的研究を深めていく。子どもの発達段階と造形表現とをいろいろな角度から検討していく。各自のテーマに沿った、文献研究、資料収集を行い、ものづくりの背景や意味や歴史も研究の対象とする。絵画、立体、工作、デザイン等の制作実践を通して研究の深化を図る。</p>										
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 1年間の流れ 計画立案 卒業研究計画の確認										
授業計画 【第2回】	研究計画の検討と修正① 具体的な計画書を作成する。										
授業計画 【第3回】	研究計画の検討と修正② 先行研究等の資料を整理する。										
授業計画 【第4回】	先行研究の情報収集と分析① 収集した資料から、参考となる項目を拾い上げる。										
授業計画 【第5回】	先行研究の情報収集と分析② 先行研究の文献を整理し、参考となる事項を選択する。										
授業計画 【第6回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導① 論の立て方を再度検討する。										
授業計画 【第7回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導② 執筆に全力で当たる。										
授業計画 【第8回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導③ 執筆に全力で当たる。										
授業計画 【第9回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導④										
授業計画 【第10回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導⑤										

授業計画 【第11回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導⑥
授業計画 【第12回】	卒業研究の中間報告①
授業計画 【第13回】	卒業研究の中間報告②
授業計画 【第14回】	前期のまとめ
授業計画 【第15回】	後期の研究計画について
授業計画 【第16回】	後期の個人研究計画の確認①
授業計画 【第17回】	後期の個人研究計画の確認②
授業計画 【第18回】	後期の個人研究計画の確認③
授業計画 【第19回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導①
授業計画 【第20回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導②
授業計画 【第21回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導③
授業計画 【第22回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導④
授業計画 【第23回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導⑤
授業計画 【第24回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導⑥
授業計画 【第25回】	卒業研究のまとめ①
授業計画 【第26回】	卒業研究のまとめ②
授業計画 【第27回】	卒業研究の発表の準備①

授業計画 【第28回】	卒業研究の発表の準備②
授業計画 【第29回】	卒業研究の発表の準備③ 発表に向けて、準備の確認をする。
授業計画 【第30回】	卒業研究の総括 良かった点や改善点をまとめる。
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究に対する積極性があり、主体的に参加する。</li> <li>・ 課題を発表、討論することで学習を共有する。</li> <li>・ 卒業研究に向けての研究構想を具体的に作成し、計画を推し進める。</li> </ul>
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(3)
授業時間外学習【予習】	
授業時間外学習【復習】	
課題に対する フィードバック	専門性や社会性、客観性を注視し、助言を行う。
評価方法・基準	課題に対する取り組み方、姿勢、課題の成果により総合的に判断する。
テキスト	特になし
参考書	参考文献、引用文献資料等、適宜紹介しながら研究推進する。
備考	